



歯っぴ～噛む噛む



今回のテーマは

「歯の色について」です。

お子さんの歯、色が変わってきたな…と、ご心配のあなたへ。乳歯の色の変化には、様々な原因が考えられます。このポスターでは、その原因と対処法についてご紹介します。

食べ物や飲み物の着色汚れ



歯の表面にあるたんぱく質に、トマトやブドウ、茶渋等の色素成分が結び付き、着色することで色が変わることがあります。

軽度であれば歯磨き、なかなか取れない場合には歯科医院で相談しましょう。

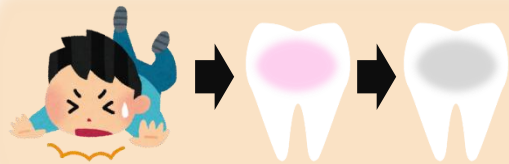
エナメル質の形成不全



歯の構造の一つであるエナメル質の形成が不十分であった場合、白色や茶色、黄色になることがあります。

遺伝性や、薬剤性に因るものがあり、欠けやむし歯になりやすいといわれています。むし歯予防のために定期的な歯科医院でのフッ素塗布を行いましょう。

歯をぶつけたことによるトラブル



歯をぶつけた場合、歯の神経の部分に血液がたまり、ピンク色に変化することがあります。

そのまま改善することもあります。状況によっては歯科医師が様子を見る場合と、神経をとる場合があります。

むし歯の進行



初期のむし歯の場合、白色になり、その後黒色に変化します。特に欠けた状態になると歯科医院での治療が必要となります。

そのままにしていると大人の歯にも影響が出る場合があります。早めに歯科医院で相談しましょう。

まとめ

子供の歯は大人の歯に比べ、非常にむし歯になりやすい構造になっています。

仕上げ磨きをされる際には注意していただき、気になる場合には早めに歯科医院を受診しましょう。

